



WOWOW

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社WOWOW 上場取引所 東
 コード番号 4839 URL <https://corporate.wowow.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山本 均
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理局長 (氏名) 西岡 知之 TEL 03-4330-8080
 定時株主総会開催予定日 2026年6月18日 配当支払開始予定日 2026年6月2日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・記者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	77,124	0.5	1,475	△27.6	2,276	△24.1	1,296	103.3
2025年3月期	76,757	2.5	2,036	40.4	2,997	45.7	637	△41.6

(注) 包括利益 2026年3月期 2,283百万円 (304.0%) 2025年3月期 565百万円 (△79.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	45.80	—	1.9	2.3	1.9
2025年3月期	22.59	—	0.9	3.2	2.7

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 261百万円 2025年3月期 373百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	94,547	69,544	73.6	2,454.15
2025年3月期	100,499	68,034	67.7	2,407.17

(参考) 自己資本 2026年3月期 69,544百万円 2025年3月期 68,034百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	5,338	△3,721	△928	26,446
2025年3月期	4,344	△3,626	△927	25,723

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	847	132.8	1.2
2026年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	850	65.5	1.2
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		141.9	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,300	△3.4	740	△54.6	980	△54.2	640	△55.8	22.57
通期	74,500	△3.4	750	△49.2	1,000	△56.1	600	△53.7	21.14

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	28,844,400株	2025年3月期	28,844,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期	506,839株	2025年3月期	581,216株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	28,315,554株	2025年3月期	28,240,433株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	63,233	△0.7	789	△49.1	1,579	△30.8	831	31.9
2025年3月期	63,657	△1.1	1,549	30.1	2,283	18.2	630	△43.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	29.38	—
2025年3月期	22.34	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2026年3月期	84,224		60,594		71.9	2,138.30
2025年3月期	90,569		59,560		65.8	2,107.34

(参考) 自己資本 2026年3月期 60,594百万円 2025年3月期 59,560百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想 (2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	29,200	△4.4	880	△50.9	620	△49.3	21.86
通期	59,700	△5.6	380	△75.9	260	△68.7	9.16

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

当連結会計年度におけるわが国経済は、弱めの動きが見られながらも緩やかな回復基調が続く一方、各国の通商政策を巡る不確実性や地政学リスクの増大、物価高による個人消費拡大への懸念等、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境の下、当連結会計年度における当社グループの業績は、会員収入が減少したものの、グループ会社を含めた事業収入が増加したこと等により、売上高は771億24百万円と前期に比べ3億67百万円(0.5%)の増収となりました。営業利益は14億75百万円と前期に比べ5億61百万円(△27.6%)の減益、経常利益は22億76百万円と前期に比べ7億21百万円(△24.1%)の減益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は12億96百万円と、4Kチャンネル「WOWOW 4K」の放送サービス終了他による減損損失を計上した前期に比べ6億58百万円(103.3%)の増益となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりです。

<メディア・コンテンツ>

当連結会計年度は、「欧州サッカー UEFAチャンピオンズリーグ」、日本代表戦が注目を集めたラグビー、テニスのグランドスラム4大会等のスポーツコンテンツ、Mr s. GREEN APPLEや東方神起、SUMMER SONIC 2025等の音楽コンテンツを放送・配信し、新規加入獲得を牽引いたしました。また、コンテンツのさらなる充実に向け㈱NTTドコモとコンテンツの共同制作・共同調達・相互提供に関する業務提携契約を締結し、両社初の共同制作となるWOWOW×Lemino連続ドラマ「北方謙三 水滸伝」も新規加入獲得に貢献しました。

しかしながら、他社の動画配信サービスとの競争激化、目的番組の終了による解約件数増加の影響等により、正味加入件数は純減と厳しい結果となりました。

一方で、中期経営計画(2025-2029年度)で掲げた各事業領域において、メディア・サービス領域、コマースおよびイベント領域、会員領域以外(B to B)では、収益向上を図るため様々な取り組みを実施いたしました。

メディア・サービス領域では、主に4Kチャンネルの放送サービス終了に伴う費用削減、2026年度にローンチ予定の新たな配信サービスの準備を進めてまいりました。コマースおよびイベント領域では、2025年10月にECサイト「WOWOW百貨店」がグランドオープンしたほか、2日間で約6万人を動員した「WESSION FESTIVAL 2025」、日本全国3都市で実施した国内アリーナツアー「ATEEZ 2025 WORLD TOUR [IN YOUR FANTASY] IN JAPAN」等のイベント事業を実施いたしました。会員領域以外(B to B)において、国内プロダクション事業では、当社が企画・制作しNHK総合で放送された戦後80年ドラマ「八月の声を運ぶ男」等を受注したほか、海外作品向けのプロダクション事業では「FBI:インターナショナル4<最終章>」の日本国内での撮影業務を受注しました。

以上の結果、当連結会計年度におけるメディア・コンテンツセグメントの売上高は、701億11百万円と前期に比べ3億61百万円(△0.5%)の減収、セグメント利益は13億82百万円と前期に比べ8億82百万円(△38.9%)の減益となりました。

当連結会計年度の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第41期 2025年3月期	第42期 2026年3月期	対前年差	対前年増減率
新規加入件数	704,674	571,398	△133,276	△18.9%
解約件数	812,074	764,409	△47,665	△5.9%
正味加入件数	△107,400	△193,011	△85,611	—
累計正味加入件数	2,359,712	2,166,701	△193,011	△8.2%
内) 複数契約(注)1	315,599	287,738	△27,861	△8.8%
内) 宿泊施設契約(注)2	88,981	90,828	1,847	2.1%

- (注) 1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,530円(税込)の視聴料金を990円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。
2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。
3. トリプルプラン {月額プラン料金3,960円(税込)、年額プラン料金43,560円(税込)} の契約者は、1契約として各実績に含めております。

<テレマーケティング>

前連結会計年度に当社グループに加わりました㈱c i n r aの売上が通期で寄与いたしましたこと等により、売上高は104億43百万円と前期に比べ5億17百万円(5.2%)の増収となりました。セグメント利益は91百万円(前期はセグメント損失2億29百万円)となりました。

② 次期の見通し(2026年4月1日～2027年3月31日)

中期経営計画の2年目となる2026年度は、放送事業の想定を超える縮小という現実を直視し、「新たな配信サービスの立ち上げ」と「コンテンツ多層化収益の拡大」の2軸へ経営資源を集中させます。既存の放送サブスクリプションモデルからの脱却を図り、次世代のハイブリッド型事業構造への転換を強力に推進してまいります。

当社グループは、以下の課題に優先的に対処してまいります。

- ① 新たな配信サービスの立ち上げとデジタル基盤の確立
新サービスへのマーケティング投資の集中と、デジタル領域での顧客獲得の最大化
- ② コンテンツ多層化による事業収入の創出
収益性の高いコンテンツ外部販売や広告事業の強化
- ③ コスト構造改革
コンテンツ費等全社的な費用構造の見直しと固定費の削減
- ④ AI・DX活用による生産性向上
AI活用・DX化の全社推進による事業基盤の強化
- ⑤ グループ各社の収益基盤の再構築
グループ各社における「グループ外売上(外販)」の推進

2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高745億円(前期比3.4%減)、営業利益7億円(同49.2%減)、経常利益10億円(同56.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益6億円(同53.7%減)を見込んでおります。加入件数は、期末累計正味加入件数205万件を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は945億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億51百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産で番組勘定等が減少したことによるものです。

(負債)

負債は250億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億61百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金等が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は695億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億10百万円の増加となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金等が増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ7億22百万円増加し、264億46百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果得られた資金は53億38百万円（前年同期は43億44百万円の収入）となりました。主な増加要因は、棚卸資産の減少額100億82百万円、減価償却費30億23百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額73億22百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は37億21百万円（前年同期は36億26百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出26億23百万円及び無形固定資産の取得による支出11億74百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果使用した資金は9億28百万円（前年同期は9億27百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払額8億47百万円です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,751	29,684
受取手形、売掛金及び契約資産	5,600	6,146
商品及び製品	82	152
番組勘定	31,597	21,379
仕掛品	34	79
貯蔵品	42	62
前払費用	1,131	1,852
その他	2,297	2,078
貸倒引当金	△26	△27
流動資産合計	69,510	61,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,860	10,122
減価償却累計額	△5,630	△5,937
建物及び構築物（純額）	4,229	4,184
機械及び装置	15,419	15,797
減価償却累計額	△12,460	△11,741
機械及び装置（純額）	2,959	4,055
工具、器具及び備品	5,139	4,755
減価償却累計額	△3,802	△3,733
工具、器具及び備品（純額）	1,337	1,021
建設仮勘定	226	141
その他（純額）	71	141
有形固定資産合計	8,824	9,545
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
ソフトウェア	2,346	3,136
その他	561	473
無形固定資産合計	7,918	8,621
投資その他の資産		
投資有価証券	3,076	3,685
関係会社株式	9,265	10,124
繰延税金資産	877	398
敷金及び保証金	650	588
その他	479	273
貸倒引当金	△105	△98
投資その他の資産合計	14,244	14,972
固定資産合計	30,988	33,138
資産合計	100,499	94,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,120	16,202
未払金	1,623	1,333
未払費用	3,257	3,080
未払法人税等	252	448
賞与引当金	70	70
その他	2,047	1,608
流動負債合計	30,372	22,743
固定負債		
役員退職慰労引当金	30	34
退職給付に係る負債	1,779	1,759
資産除去債務	—	166
その他	282	299
固定負債合計	2,092	2,259
負債合計	32,465	25,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,192	3,166
利益剰余金	58,697	59,146
自己株式	△789	△688
株主資本合計	66,100	66,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,638	2,711
繰延ヘッジ損益	152	80
退職給付に係る調整累計額	142	127
その他の包括利益累計額合計	1,933	2,919
純資産合計	68,034	69,544
負債純資産合計	100,499	94,547

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	76,757	77,124
売上原価	52,066	54,377
売上総利益	24,690	22,747
販売費及び一般管理費	22,654	21,272
営業利益	2,036	1,475
営業外収益		
受取利息	92	112
受取配当金	65	71
為替差益	487	418
持分法による投資利益	373	261
移転補償金	153	—
その他	46	76
営業外収益合計	1,219	940
営業外費用		
支払手数料	56	27
支払保証料	40	38
投資事業組合運用損	16	40
出資金運用損	10	22
事業所移転費用	117	—
その他	15	9
営業外費用合計	257	138
経常利益	2,997	2,276
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	381	42
特別利益合計	382	43
特別損失		
固定資産除却損	32	114
減損損失	2,355	—
投資有価証券評価損	172	249
特別損失合計	2,560	363
税金等調整前当期純利益	819	1,956
法人税、住民税及び事業税	424	618
法人税等調整額	△242	41
法人税等合計	181	659
当期純利益	637	1,296
親会社株主に帰属する当期純利益	637	1,296

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	637	1,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△204	1,073
繰延ヘッジ損益	△15	△86
退職給付に係る調整額	124	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	23	13
その他の包括利益合計	△72	986
包括利益	565	2,283
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	565	2,283

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,212	58,904	△897	66,219
当期変動額					
剰余金の配当			△845		△845
親会社株主に帰属する 当期純利益			637		637
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△19		108	88
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△19	△207	108	△118
当期末残高	5,000	3,192	58,697	△789	66,100

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,842	145	17	2,006	68,225
当期変動額					
剰余金の配当					△845
親会社株主に帰属する 当期純利益					637
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					88
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△204	7	124	△72	△72
当期変動額合計	△204	7	124	△72	△191
当期末残高	1,638	152	142	1,933	68,034

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	3,192	58,697	△789	66,100
当期変動額					
剰余金の配当			△847		△847
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,296		1,296
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△25		100	75
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△25	448	100	524
当期末残高	5,000	3,166	59,146	△688	66,624

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,638	152	142	1,933	68,034
当期変動額					
剰余金の配当					△847
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,296
自己株式の取得					—
自己株式の処分					75
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,073	△72	△14	986	986
当期変動額合計	1,073	△72	△14	986	1,510
当期末残高	2,711	80	127	2,919	69,544

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	819	1,956
減価償却費	3,439	3,023
のれん償却額	49	33
減損損失	2,355	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	82	△40
受取利息及び受取配当金	△158	△184
為替差損益 (△は益)	68	△244
持分法による投資損益 (△は益)	△319	△186
投資有価証券売却損益 (△は益)	△381	△42
投資有価証券評価損益 (△は益)	172	249
売上債権の増減額 (△は増加)	233	△545
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,196	10,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,143	△7,322
未払消費税等の増減額 (△は減少)	468	△613
その他	△146	△498
小計	4,629	5,667
利息及び配当金の受取額	158	184
利息の支払額	△1	△5
法人税等の支払額	△442	△508
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,344	5,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,043	△6,212
定期預金の払戻による収入	5,348	6,212
有形固定資産の取得による支出	△2,032	△2,623
無形固定資産の取得による支出	△998	△1,174
投資有価証券の取得による支出	△423	△82
投資有価証券の売却による収入	939	124
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△433	—
その他	17	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,626	△3,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△52	△51
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△29	△29
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△845	△847
財務活動によるキャッシュ・フロー	△927	△928
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199	722
現金及び現金同等物の期首残高	25,922	25,723
現金及び現金同等物の期末残高	25,723	26,446

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、本国（日本）において番組を制作・調達し、BS（放送衛星）により有料でテレビ放送を行うことを軸に、ケーブルテレビ、CS（通信衛星）放送やIPTVでもサービスを提供しております。また、2021年から動画配信サービス「WOWOWオンデマンド」を提供しております。当該サービスの一つとして当社の連結子会社である㈱WOWOWコミュニケーションズが当社及び外部から委託を受け、当社の顧客管理業務及びテレマーケティング業務を行っております。当社の顧客管理業務については当社戦略に基づき、テレマーケティング業務に関しては、㈱WOWOWコミュニケーションズを中心に、当社の連結子会社であるフロストインターナショナルコーポレーション㈱、㈱cinra各社が独自の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループは、主として有料でテレビ放送する事業に係るサービスを行う「メディア・コンテンツ」、当該サービスに係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントごとの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,465	6,291	76,757	—	76,757
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	3,633	3,641	△3,641	—
計	70,472	9,925	80,398	△3,641	76,757
セグメント利益又は損失(△)	2,265	△229	2,035	0	2,036
セグメント資産	94,190	6,724	100,914	△415	100,499
その他の項目					
減価償却費	3,170	268	3,439	—	3,439
のれんの償却額	—	49	49	—	49
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,555	579	3,135	—	3,135

(注) 1. セグメント資産の調整額△415百万円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,104	7,020	77,124	—	77,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	3,422	3,430	△3,430	—
計	70,111	10,443	80,554	△3,430	77,124
セグメント利益	1,382	91	1,474	0	1,475
セグメント資産	88,306	6,654	94,961	△413	94,547
その他の項目					
減価償却費	2,820	202	3,023	—	3,023
のれんの償却額	—	33	33	—	33
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	4,515	53	4,568	—	4,568

(注) 1. セグメント資産の調整額△413百万円は、セグメント間の債権の相殺消去であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の重要なサービス区分と報告セグメントによる区分は一致しますため、記載しておりません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

海外に所在する有形固定資産が存在しないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売の相手先は一般視聴者であり、記載すべきものはありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社の重要なサービス区分と報告セグメントによる区分は一致しますため、記載しておりません。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

海外に所在する有形固定資産が存在しないため、記載しておりません。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な販売の相手先は一般視聴者であり、記載すべきものはありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
減損損失	1,769	586	—	2,355

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
当期償却額	—	49	—	49
当期末残高	—	289	—	289

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	メディア・コンテンツ	テレマーケティング	全社・消去	合計
当期償却額	—	33	—	33
当期末残高	—	256	—	256

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

重要な負ののれん発生益は計上しておりません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

重要な負ののれん発生益は計上しておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,407.17円	2,454.15円
1株当たり当期純利益	22.59円	45.80円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	637百万円	1,296百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	637百万円	1,296百万円
期中平均株式数	28,240,433株	28,315,554株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

販売の状況

当連結会計年度における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	対前年増減率 (%)
メディア・コンテンツ	70,104	△0.5
テレマーケティング	7,020	11.6
合計	77,124	0.5

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 主要な販売の相手先は一般視聴者であり、主な相手先別に記載するべきものではありません。
 3. メディア・コンテンツセグメントには会員収入54,947百万円を含んでおります。